

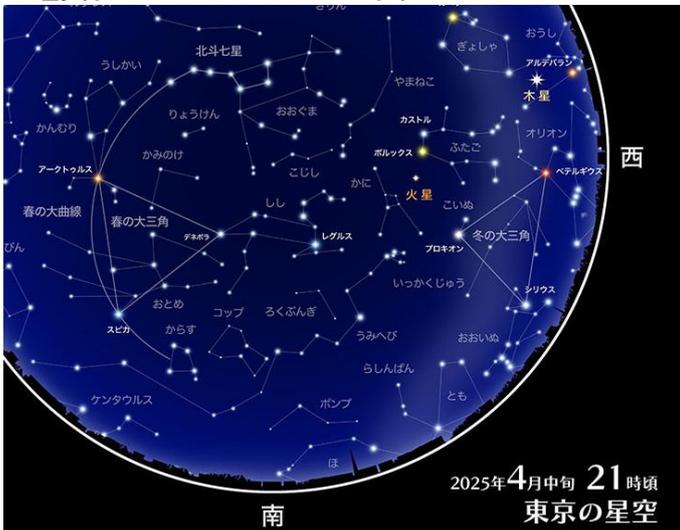
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 ★★	2 ★★	3	4 ★ せいめい 清明	5
			日の出 5:36 日の入 18:14		夕方、南の空の月を見よう	上弦
6	7	8	9 ★★	10 ★★	11	12 ★★
夕方、南の空の月を見よう			日の出 5:26 日の入 18:20			夜、満月を見よう
13 ★	14	15	16 ★★	17 春の土用の入り	18 ★	19 ★★
満月	夜、満月を見よう		日の出 5:16 日の入 18:26			
20 ★★ こくう 穀雨	21 ★	22 ★★ こと座流星群	23	24 ★	25 ★	26 ★
朝、西の空の	下弦	月を見よう	日の出 5:07 日の入 18:32			
27 ★★	28 ★★	29 ★ 昭和の日	30	1 ★★	2 ★★	3 ★★ 憲法記念日
	新月		日の出 4:59 日の入 18:39			

※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率
★★: 60%以上 ★: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

■春の星座を見つけよう

太陽が沈んで暗くなった頃の空を見上げると、北の空高く昇った北斗七星が見えます。このひしゃくの持ち手のカーブをそのまま南に延長してたどる「春の大曲線」が春の星座さがしの手がかりとなります。曲線上には春の大三角も見つかります。この春は最接近を終えた火星が、ふたご座からかに座、しし座へと移動していきます。穏やかで過ごしやすいこの季節は夜空を鑑賞するのもってこいです。

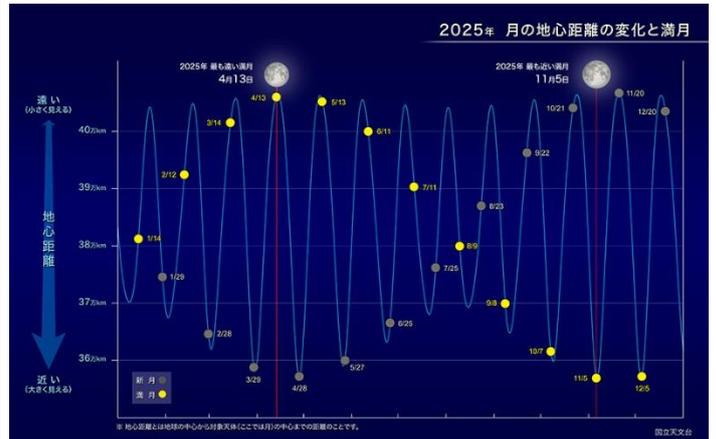


©国立天文台

今月のトピックス

■地球と満月の距離

地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしているため、地球と月との距離は常に一定ではありません。また、月の軌道も太陽や地球などの重力を受けて変化するなど、複雑な仕組みが働いているため、1公転の中で最近（地球から最も近い）・最遠（地球から最も遠い）となるときの距離も一定ではなく変化しています。4月の満月は、2025年中の満月としては最も遠い位置で起こります。月は4月13日9時22分に満月となり、翌日の14日7時48分に遠地点を通過します。遠くにある分、ちょっと小さめの満月ですね。



©国立天文台

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29 昭和の日	30	1 はちじゅうはちや 八十八夜	2	3 憲法記念日
※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ★: 40~50%		夕方、西の空の 三日月 月を見よう			夕方、南の空を見よう	
4 みどりの日	5 こどもの日 立夏 夕方、南の空を見よう	6 振替休日 みずがめ座η流星群	7 土星の環の消失	8	9	10 日の出 4:48 日の入 18:47
11	12	13	14	15	16	17 日の出 4:42 日の入 18:53
夜、満月を 満月 見よう						
18	19	20	21 しょうまん 小満	22	23	24 日の出 4:38 日の入 18:59
朝、西の空の 下弦 月を見よう						
25	26	27	28	29	30	31 日の出 4:34 日の入 19:04
		夕方、西の空の 三日月 月を見よう				

★ 夜空をながめてみよう ★

■ 月が土星、金星に接近

夜明け前の東の空には、金星と土星が輝いています。4月中旬から5月に入った頃は金星よりも低い位置にあった土星は、5月下旬に向けて高度を上げ、5日頃には金星に並び、金星から離れていきます。23日には、細い月が土星に接近して見えます。翌24日になると、さらに細くなった月が金星に接近して見えます。22日から毎日同じような時刻に見るようにすると、月が位置を変えながら細く欠けていく様子を観察できます。太陽に近づくほど月が細く見えるようになることに気が付くことでしょう。



©国立天文台

今月のトピックス

■ みずがめ座^{エーダ}η流星群が極大・・・5月6日(火)

みずがめ座は、秋の宵の南の空で見頃になる星座ですが、5月の初旬になると夜明け前の南東の空低く姿を見せるようになります。そのみずがめ座に輻射点のある「みずがめ座η流星群」が6日の午前6時頃極大を迎えます。今年は9日くらいまで観察できそうです。



5月6日午前3時の空

ステラシアターに一部加筆

コラム 土星の環の消失

土星の環は、地球から見ると、約15年周期でその傾きが大きくなったり小さくなったりする変化を繰り返しています。今年は、環を真横から見るようになるために、環が全く見えなくなる時期が訪れます。このような現象を「環の消失現象」と呼びます。

日	月	火	水	木	金	土
1 ☆	2 ☆	3 ☆☆	4 ☆	5 ☆ ぼうしゆ 芒種	6	7 ☆
日の出 4:34 日の入 19:04	← 夕方、南の空の上弦月を見よう →					
8	9 ☆	10 ☆	11 ☆ にゅうばい 入梅	12 ☆	13	14
日の出 4:32 日の入 19:08	← 夜、満月を見よう →					
15	16	17 ☆☆	18 ☆	19 ☆	20 ☆	21 ☆ げし 夏至
日の出 4:32 日の入 19:11	← 朝、西の空の下弦月を見よう →					
22	23	24 ☆	25	26 ☆	27	28
日の出 4:33 日の入 19:13	← 夕方、西の空の三日月を見よう →					
29	30	1	2	3	4	5
日の出 4:35 日の入 19:14	※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ☆☆: 60%以上 ☆: 40~50%					

今月のトピックス1

■月が火星に近づく

空が暗くなった宵の時間帯、西の空には赤っぽい色をした惑星、火星が輝いています。6月1日には月が火星に近づいて見えます。1日は、太陽が沈む前から、半月よりやや細い月が青空の中の南西の空に見えることでしょう。太陽が沈み、空が暗くなってくると、やがて西の空へと位置を移した月の左下に寄り添うような位置に、火星が見え始めます。月が火星に最も近づいているのは21時頃で、この様子は肉眼でも見えますが、双眼鏡を使うと、さらにはっきりと見ることができでしょう。



©国立天文台

今月のトピックス2

■未明の空で月が土星と金星に相次いで近づく

6月の後半、土星が夜半頃に東の空に姿を現し、明け方にかけて南東の空高くへと昇ります。その後、金星も東北東の空に昇り、明るく輝きます。6月19日から6月23日にかけて、月が土星、金星へと近づく様子が見られます。月が土星に最も近づいているのは、19日未明（18日深夜過ぎ）です。日付が進むと月は、25日の新月に向けて徐々に欠けながら東へと位置を変えていきます。明けの明星とも呼ばれ、強い輝きを見せる金星と、細く輝く月が並ぶ様子は、明け方の空で大変目を引く光景となることでしょう。



©国立天文台

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 はんげしょう 半夏生 日の出 4:36 日の入 19:14	2	3	4	5
6	7 しょうしょ たなばた 小暑 七夕 日の出 4:40 日の入 19:13	8	9	10 ☆☆	11	12
13	14	15 日の出 4:44 日の入 19:10	16	17 ★	18 ★	19 ★ 夏の土用の入り
20 ★	21 ☆☆ 海の日	22 ★ たいしょ 大暑 日の出 4:49 日の入 19:06	23	24 ★	25 ★	26 ★
27	28	29 日の出 4:54 日の入 19:00	30 ★	31 ☆☆ みずがめ座δ南流星群	1	2

※過去 10 年間の富山市の午後9時の晴天率
☆☆: 60%以上 ★: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

■七夕の牽牛星と織女星を見つけよう

7月7日は、星祭りとして有名な七夕です。織姫と彦星が天の川をはさんで年に1度しか出会えなくされたという七夕伝説が有名ですね。夏の夜空をいろいろと座の織女星ベガとわし座の牽牛星アルタイルをぜひ見つけ出してください。2つの星の距離は約15光年（1秒間に約30万km進む光の速さで15年間移動した距離）もありますが、互いの明るさで相手を見つけているのかもしれませんがね。この2つの星とはくちょう座のデネブを加えてできるのは夏の大三角です。デネブは地球から約1400光年離れています。



7月7日午後8時の空

ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■みずがめ座δ南流星群が極大…7月31(木)

7月後半は梅雨明けとなり、夏空の星座を見るにはよい季節となります。やぎ座流星群とみずがめ座δ流星群が極大を迎えます。みずがめ座流星群よりもやぎ座流星群の方が速度が遅いため、ゆっくり流れて見えるでしょう。みずがめ座付近には、いくつもの枝分かれした流星群の輻射点があります。7月31日には、みずがめ座δ南流星群極大となる予想で、日が変わる8月1日深夜が観測のチャンスとなります。この夏は8月1日が上弦なので、ピーク時の条件はますますといえるでしょう。



7月31日午後11時の空

ステラシアターに一部加筆

とやま天文カレンダー

2025年

8月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31 ★★	1 ★★	2 ★★
<small>※過去 10 年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★：60%以上 ★：40~50%</small>				夕方、南の空の 上弦 月を見よう		
3 ★★	4 ★★	5 ★	6 ★	7 りっしゅう 立秋	8 ★	9 ★★
				日の出 5:01 日の入 18:53	夜、満月を見よう 満月	
10	11 ★★ 山の日	12 ★	13 ペルセウス座流星群	14 ★★	15	16
夜、満月を見よう					朝、西の空の月を見よう 下弦	
17	18 ★★	19	20	21	22	23 ★ しよしよ 処暑
朝、西の空の月を見よう					日の出 5:12 日の入 18:36 新月	
24	25 ★	26 ★	27	28 ★	29 旧七夕	30
夕方、西の空の 三日月 月を見よう				日の出 5:18 日の入 18:27	夕方、南の空の月を見よう	
31 にひゃくとおか 二百十日	1	2	3	4	5	6
夕方、南の空の 上弦 月を見よう						

★ 夜空をながめてみよう ★

■ 未明の空で近づく月と2惑星に注目！

8月下旬になると、夜明けの東天には早くも冬の星座が見られるようになります。ふたご座の方角には木星と明けの明星がひときわ明るく輝いて見えます。8月20日から21日にかけては、同じ方角に細く欠けた月が通るため、暁色の東天に幻想的な光景が繰り広げられます。朝焼けの空の天体ショーを早起きして楽しみましょう。



8月20日午前4時の空

ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■ ペルセウス座流星群が極大…8月13日(水)

ペルセウス座流星群が、8月13日午前5時頃がピークとなると予想されています。12日の夜から翌13日の夜明けにかけてちょうど見頃となります。夏はたくさん流星が見られる季節ですが、この夏はあいにく明るい月明かりがあります。できるだけ夜空の暗く澄んだ高原などに遠征して見るのがおすすめです。



8月13日午前3時の空

ステラシアターに一部加筆

とやま天文カレンダー

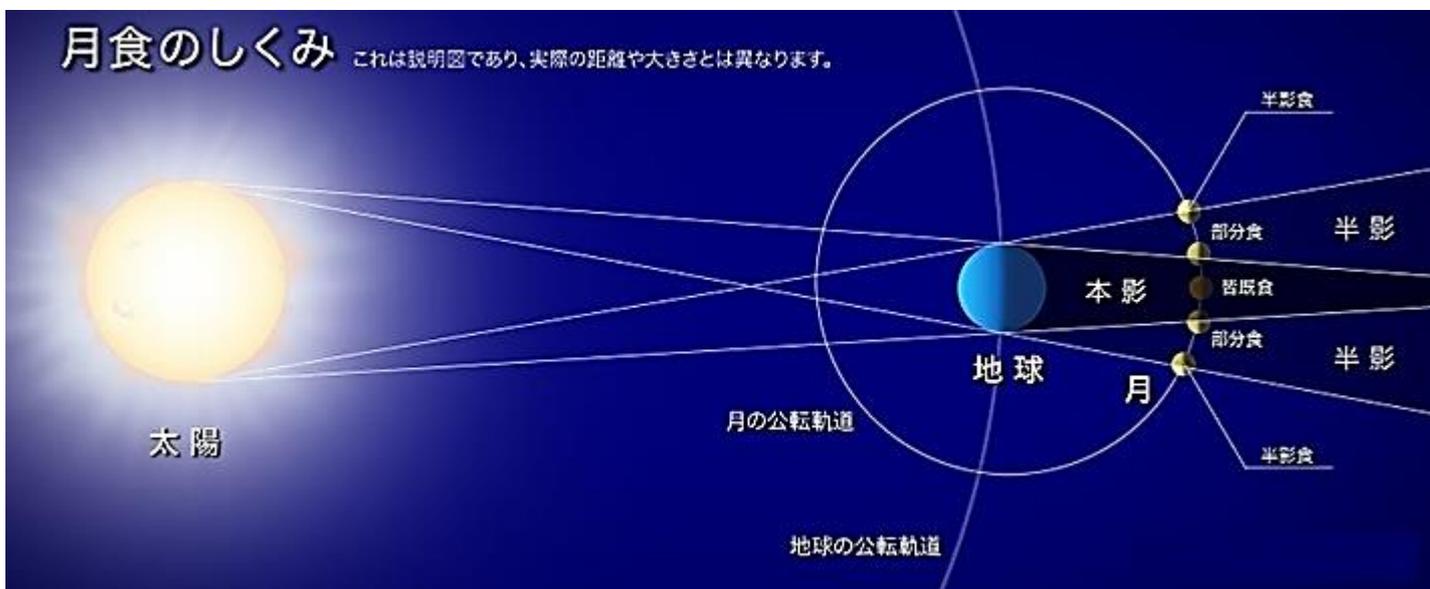
2025年

9月

日	月	火	水	木	金	土
31 ☆	1 ☆	2 ☆	3 ☆	4	5	6
上弦 夕方、南の空の月を見よう		※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ☆☆: 60%以上 ☆: 40~50%			日の出 5:25 日の入 18:14	
7 はくろ 白露	8 かいぎげっしょく 皆既月食	9 ☆	10	11 ☆	12	13 ☆
夜、満月を 満月 見よう					日の出 5:31 日の入 18:04	朝西の空の月を見よう
14	15 ☆ 敬老の日	16	17 ☆	18	19	20 ひが ん 彼岸
朝、西の 下弦 空の月を見よう					日の出 5:36 日の入 17:53	
21	22	23 ☆☆ 秋分の日 秋分	24	25	26	27
新月		夕方、西の空の 三日月 月を見よう			日の出 5:42 日の入 17:42	
28	29 ☆	30 ☆	1	2	3	4
夕方、南の空の 上弦 月を見よう						

● 皆既月食 ●

9月8日(月)は、午前2時30分頃から午前3時53分頃にかけて全国で皆既食を見ることができます。2年10か月ぶりに日本で見られる皆既月食です。月にかかる地球の影には「本影(太陽光がほぼさえぎられた濃い影)」と「半影(本影を取り囲む薄い影)」の2種類があり、月がどちらの影に入るかによって、月食の呼び方が変わります。半影食は、月の一部または全部が半影だけに入った状態です。半影は薄い影なので、目で見ただけでは月が欠けているかどうか、はっきりとは分かりません。本影食は、月の一部または全部が本影に入った状態です。一般的に「月食」というと、「本影食」を指します。本影は濃い影なので、月がはっきりと欠けたように見えます。月の一部だけが本影に入り込む現象が「部分食」、月の全てが本影に入り込む現象が「皆既食」です。

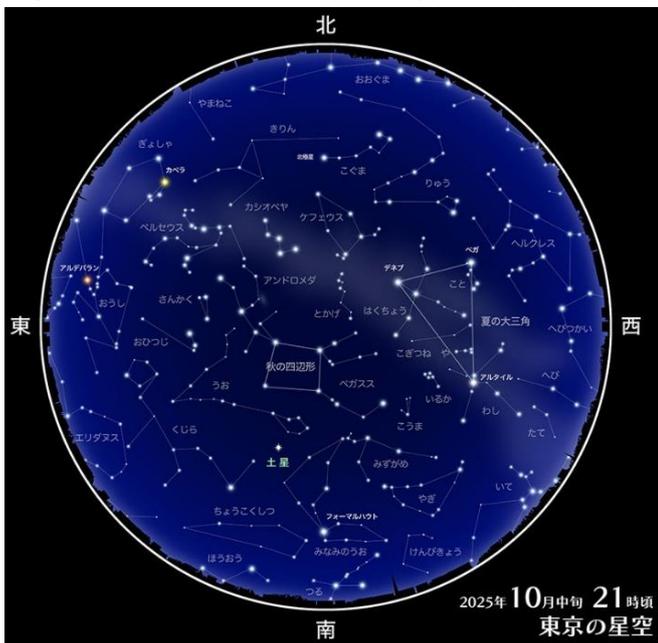


日	月	火	水	木	金	土
28	29	30 ★	1 ★★	2 ★	3 ★	4
<small>※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★：60%以上 ★：40~50%</small>						日の出 5:49 日の入 17:31
5 ★★	6 ★ 中秋の名月	7 ★	8 ★ かんろ 寒露	9	10	11 ★
夜、満月を 満月 見よう						日の出 5:55 日の入 17:21
12	13 ★★ スポーツの日	14	15 ★	16	17 ★★	18
朝、西の空の 下弦 月を見よう						日の出 6:01 日の入 17:11
19 ★	20 ★ 秋の土用の入り	21 ★ オリオン座流星群	22	23 ★ 霜降	24	25 ★
夕方、西の空の 三日月 月を見よう						日の出 6:08 日の入 17:02
26 ★★	27 ★★	28 ★	29	30 ★	31 ★★	1
夕方、南の空の 上弦 月を見よう						

★ 夜空をながめてみよう ★

■秋の星座を見つけよう

秋の夜空には明るい星が少なく、さみしげな印象ですが、明るい土星がひとときわ輝いて見えるので、淡い秋の星座を見つけるのに役立ってくれます。秋の夜長を夜空の星座と過ごしてみましょ。この時期唯一の1等星はフォーマルハウト。ぜひ探してみましょ。



2025年10月中旬 21時頃
東京の星空

©国立天文台

今月のトピックス

■中秋の名月（十五夜）…10月6日（月）

「中秋の名月」とは、旧暦の秋(7・8・9月)の真ん中の8月15日の月です。そのとき見える月を「十五夜」と呼んでいます。旧暦の日付を新暦に直すとズレが生じるため、十五夜の日付は毎年異なります。満月手前の名月をながめてみましょ。

■月の表面

月の表面には2種類の岩石があります。暗く見える部分は「玄武岩」という黒っぽい岩石が多く、白く見える部分は「斜長岩」という白っぽい岩石が多くその色の差が模様のように見えます。月の模様は世界中で様々にイメージされています。



餅つきをするうさぎ(日本) かに(南ヨーロッパ) 本を読むおばあさん(北ヨーロッパ) ロバ(南アメリカ)

■オリオン座流星群極大…10月21日(火)

10月後半は、冬の星座のオリオン座が南の空高く見えるようになります。「オリオン座流星群」が21日の午後9時頃からピークを迎えると予想されます。

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 ★
<small>※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★：60%以上 ★：40~50%</small>						
2 ★★ じゅうさんや 十三夜(後の月)	3 ★★ 文化の日 日の出 6:16 日の入 16:53	4 ★★	5 ★★ おうし座南流星群	6	7 ★ りっとう 立冬	8 ★
夜、満月を  見よう						
9 ★	10 日の出 6:23 日の入 16:46	11 ★	12 ★★ おうし座北流星群	13 ★	14 ★	15
朝、西の空の  月を見よう						
16	17 ★ 日の出 6:31 日の入 16:41	18 しし座流星群	19	20 新月	21 ★	22 しょうせつ 小雪 
夕方、西の空の月を見よう						
23 勤労感謝の日 夕方、西の空の月を見よう	24 振替休日 日の出 6:38 日の入 16:37	25	26	27	28 夕方、南の空の月を見よう 	29 夕方、南の空の月を見よう
夕方、南の空の月を見よう						
30	1	2	3	4	5	6

今月のトピックス1

■十三夜のお月見・・・11月2日(日)

10月6日の中秋の名月とともに、お月見を楽しむ機会がもう1つあります。十三夜の名月を「後の月」といいます。栗名月や豆名月とも呼ばれ、お供えに使った農作物に由来しています。少し欠けた月の形には風情が感じられます。



©国立天文台

■おうし座流星群が極大・・・11月上旬

おうし座流星群の南群が5日頃、北群が12日頃、それぞれ極大になると予想されています。5日が満月ですので月明をさけながら観察するとよいでしょう。



11月5日午前3時の空

ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス2

■しし座流星群が極大・・・11月18日(火)

2001年に日本で大流星雨の見られた、しし座流星群も近年はすっかり静かな出現に留まっています。今回は18日の午前3時頃にピークを迎えると予想されています。



11月18日午前3時頃の空

ステラシアターに一部加筆

■明け方東天のながめ・・・11月25日(火)

太陽系の最も内側をめぐる水星は、いつも太陽の近くにいて地球からは見えにくい惑星です。25日の明け方東天の空では、-3.9等の金星による強い明かりを目印にして水星を見つけてみましょう。



11月25日
午前6時45分の空

ステラシアターに一部加筆

とやま天文カレンダー

2025年

12月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2 ★★	3 日の出 6:46 日の入 16:35	4	5 夜、満月を 満月 見よう	6
7 たいせつ 大雪	8 ★	9	10 日の出 6:52 日の入 16:35	11	12 朝、西の空の 下弦 月を見よう	13
14 ふたご座流星群	15 ★	16	17 日の出 6:57 日の入 16:37	18	19	20 新月
21	22 とうし 冬至	23 こぐま座流星群	24 日の出 7:01 日の入 16:40	25	26	27 ★
28	29	30	31 おおみそか 大晦日 日の出 7:03 日の入 16:45	1 元日	2	3

※過去 10 年間の富山市の午後9時の晴天率
★★: 60%以上 ★: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

■冬の三大角と冬のダイヤモンドを見つけよう

冬は気温が下がり乾燥しているので空がクリアに見えます。そのため1年中で最も天体観測に適した季節といえます。

冬の夜空を代表する「冬の三大角」は有名ですが、冬の星空には「冬のダイヤモンド」も輝いているのを知っていますか。東の空に輝くカペラ、アルデバラン、リゲル、シリウス、プロキオン、ポルクスを結んでできる大きな六角形を見つけましょう。



12月20日午後8時の空

ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■ふたご座流星群が極大…12月14日(日)

ふたご座流星群は、活発な出現を見せてくれる流星群のひとつとしておなじみです。この冬は12月14日午後17時頃が極大になると予想されています。明るい火球めいたものもたくさん飛びますので下弦すぎの月明かりを気にせず見るのもよいでしょう。



12月14日午後10時の空 ステラシアターに一部加筆

■こぐま座流星群が極大…12月23日(火)

北極星のあるこぐま座β星付近に輻射点をもつこぐま座流星群が、12月23日の午前1時頃にピークになる予想が出ています。

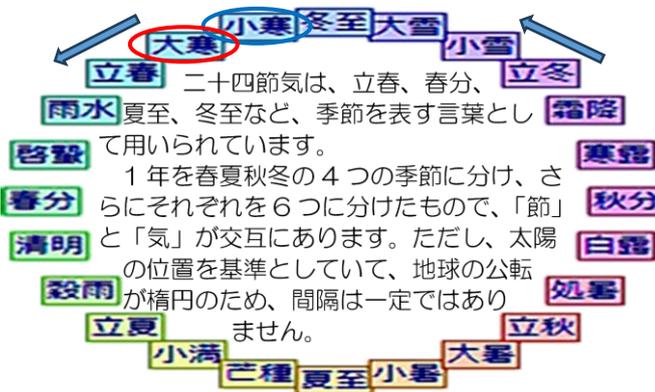
12月23日午前0時の空

ステラシアターに一部加筆



日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 元日	2	3
<small>※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ☆☆: 60%以上 ☆: 40~50%</small>				<small>日の出 7:03 日の入 16:46</small>	<small>夜、満月を見よう</small> 	
4 しぶんぎ座流星群 <small>夜、満月を見よう</small>	5 しょうかん 小寒	6	7	8 <small>日の出 7:04 日の入 16:52</small>	9	10 <small>朝、西の空を見よう</small>
11 	12 成人の日 <small>朝、西の空の月を見よう</small>	13	14	15 <small>日の出 7:03 日の入 16:58</small>	16 ☆	17 冬の土用の入り
18	19	20 だいかん 大寒 	21 ☆☆	22 	23	24
<small>夕方、南の空の</small>		<small>月を見よう</small>		<small>夕方、西の空の</small>		
25	26	27	28	29 <small>日の出 6:56 日の入 17:13</small>	30	31
<small>夕方、南の空の</small>		<small>月を見よう</small>		<small>夕方、西の空の</small>		

コラム 二十四節気



■小寒…1月5日(月)

冬至から約15日後に訪れるのが小寒です。小寒の初日を「寒の入り」と呼び、この日から、立春の前日である節分までが「寒」となります。江戸時代に発行された暦便覧では「冬至より一陽起るが故に陰気に逆らう故益々冷る也」と解説されています。

■大寒…1月20日(火)

冬の最後の節気が大寒です。大寒の後の立春は春の最初の節気になります。冬から春に移る過程の節気が大寒と思われるかもしれませんが、大寒の文字にはとても寒いという印象があります。大寒は、1年でも一番寒い時期の節気になります。

今月のトピックス

■しぶんぎ座流星群極大…1月4日(日)

しぶんぎ座流星群は、毎年お正月にピークを迎える三大流星群の一つです。流星群の名前に使われているしぶんぎ座は、現在使われている全天88星座に分類整理される以前の壁面四分儀座という星座に由来しています。今年は、4日午前6時頃にピークを迎えますが、満月の月明で目視による観察には悪条件になりそうです。



1月4日午前6時の空 ステラシアターに一部加筆

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 せつぶん 節分	4 りっしゅん 立春	5	6	7
夜、満月を  見よう						日の出 6:48 日の入 17:23
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
朝、西の空の  月を見よう						日の出 6:41 日の入 17:30
15	16	17	18	19 うすい 雨水	20	21
夕方、西の空の  月を見よう						日の出 6:33 日の入 17:37
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28
夕方、南の空の  月を見よう						日の出 6:24 日の入 17:44
1	2	3	4	5 けいちつ 啓蟄	6	7
						※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ★: 40~50%

今月のトピックス

■北の空の星の動き

冬の空は、他の季節と比べて青く澄んでいてきれいに見えます。こんな時、北の空を見上げると星がどのように動くか観察できます。

北極星は、地球の地軸をのばした先にあるので、動いて見えません。逆にまわりの星は、北極星を中心に動いて見えます。

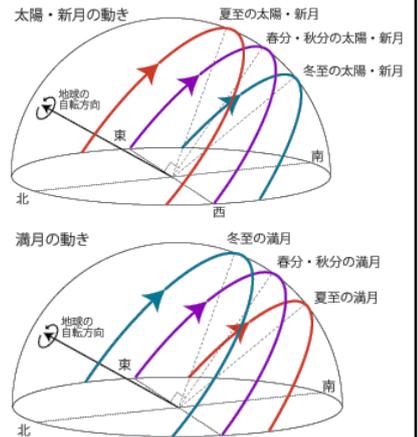
北の空の星は、北極星を中心に、時計の針と反対向きに回っているように見えます。地球の自転は1日1回転なので、星は見かけ上1時間で15°、4時間で60°動いているように見えるのです。



ステラシアターに一部加筆

コラム 冬の満月は高い?

月の見える高さは1年中同じではありません。新月のとき、月は太陽の近くにいるため太陽と同様に夏至のころは高く、冬至のころには低くなります。一方、満月のとき、月は太陽と反対側にいるため太陽とは逆に夏至のころには低く、冬至のころには高くなります(春分・秋分のころはいずれもその中間)。これは月の満ち欠けとは関係なく、夜も昼も関係なく、公転周期に近い約27.2日の周期で繰り返しています。



©国立天文台

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ☆☆	3 ☆☆ かいきげっしょく 皆既月食	4 ☆	5 ☆ けいちつ 啓蟄	6	7 ☆
		夜、満月を 満月 見よう			※過去10年間の富士市の午後9時の晴天率 ☆☆: 60%以上 ☆: 40~50%	
8	9 日の出 6:11 日の入 17:53	10	11	12 ☆☆	13	14 ☆☆
		朝、西の空の月を見よう 下弦				
15	16 ☆ 日の出 6:01 日の入 17:59	17 ☆ ひがん 彼岸	18 ☆	19	20 春分の日 しゅんぶん 春分	21
					夕方、西の空の月を見よう 三日月	
22	23 ☆ 日の出 5:51 日の入 18:05	24 ☆	25 ☆	26 ☆	27 ☆☆	28 ☆
夕方、西の空の月を見よう		夕方、南の空の 上弦 月を見よう				
29 ☆	30 ☆☆ 日の出 5:41 日の入 18:11	31	1	2	3	4
朝、西の空の月を見よう						

★ 夜空をながめてみよう ★

■ 皆既月食を観察しよう

3月3日(火)は全国各地で夕方から皆既月食が見られます。日本全国で皆既月食が見られるのは、昨年9月8日以来半年ぶりです。図は地球の影に対する月の動きを示しています。月は、地球の半影と本影を横切って、おおよそ右から左(西から東)へと進んでいきます。

■ 皆既中の月の色

皆既食中には、月が本影の中に完全に入り込みます。しかし、皆既食中の月は真っ暗にならず見えなくなるわけではなく、「赤銅(しゃくどう)色」と呼ばれる赤黒い色に見えます。これは太陽光が大気

の中を通過する際、波長の短い青い光は空気分子によって散乱され、大気をほとんど通過することができません。一方、波長の長い赤い光は散乱されにくく、光は弱められながらも大気を通過することができます。これは、朝日や夕日が赤く見えるのと同じ理由です。また、大気がレンズのような役割を果たし、太陽光が屈折されて本影の内側に入り込みます。このかすかな赤い光が皆既食中の月面を照らし、月が赤黒く見えるのです。

